

LNGバリューチェーンを通じた価値創造

東京ガスグループは1969年に日本で初めてLNGを導入して以来、LNGのバイオニア、天然ガスのトップランナーとして調達・製造・販売からなる「LNGバリューチェーン」の確立に努めてきました。これからも、LNGや天然ガスに関する技術やノウハウの蓄積と競争力のあるインフラの進化を続け、安心・安全なエネルギーの供給とエネルギーコストの低減を追求することで、社会への貢献を果たしながら企業価値を向上させていきます。

LNGバリューチェーン

調達・輸送



製造・発電・供給



LNGバリューチェーンにおける強み・経営資産

安定かつ安価なLNG調達力

LNG調達量1,387万t(日本全体の約15%に相当)



信頼性の高い強固なインフラ

4LNG基地・4発電所・ガスパイプライン



安定供給の実績、1,100万件超のお客さまとの絆・信頼関係／

天然ガスに関する技術、保安のノウハウ／経営理念を共有する社員／国内外の事業パートナー

安定的な資金調達を支える健全なバランスシート



販売・エネルギーサービス



地域密着型営業体制、 エネルギーソリューション提案力



↑
財務諸表に載らない資産
↓

生み出される価値

社会的価値

安定的なエネルギーの供給とエネルギーコストの削減による経済成長への寄与

お客様のニーズに合わせたエネルギーソリューション（利便性、安全性、経済性、省CO₂など）の提供

経済的価値

2020年度（目標）

営業CF

2,500億円

ROE

8%

ROA

4%

株主還元

総分配性向

60%

株主還元方針

- ・ 総分配性向（連結当期純利益に対する配当と自社株取得の割合）の目標を2021年3月期に至るまで各期6割程度とし、配当と自社株取得により株主還元を行っています。
- ・ 配当については、安定配当を維持しつつ、緩やかな増配を実現しています。